愛宕坂だより

秋号　No.74　2023.10.20

発行：福井市愛宕坂茶道美術館・福井市橘曙覧記念文学館

福井市愛宕坂茶道美術館　企画展

茶道具　虫図鑑

開催中～11 月 26 日（日）
月曜休館

茶道具には、トンボや蝶など虫の意匠が使われている道具がたくさんあります。

トンボは「勝虫」ともいわれ、決して後ろには進まないことから、武将たちに大変人気がありました。蝶は、卵から幼虫、さなぎを経て美しい姿になって舞い上がる様が「不老不死」の象徴だとされました。

縁起が良いとされる虫の文様。茶道具で楽しく味わいましょう。

■展示解説：10 月 22 日（日）、
11 月 12 日（日）
14 時から 30 分程度　自由参加
※要観覧券

福井市愛宕坂茶道美術館　次回企画展

早川國一（くにいち）さんの蒔絵の世界

11 月 29 日（水）～令和 6 年 2 月 25 日（日）
月曜休館・年末年始休館（12/28～1/4）

足羽地区の蒔絵師であった故・早川國一（くにいち）さんの美しい蒔絵の茶道具をご紹介します。

【展示作品】
片輪車蒔絵角香合
八角形根来塗波にかもめ蒔絵　など

福井市橘曙覧記念文学館　企画展

曙覧と周辺の人々

～江戸時代の知のネットワーク～

後期：10 月 17 日（火）～12 月 3 日（日）
月曜休館

幕末の福井に生きた橘曙覧（1812～68）。「清貧の歌人」といわれる曙覧は、城下でひっそりと歌を詠み、一人静かに暮らしていたというイメージかもしれませんが、実際は多くの人に出会い、豊かな交友関係を築いていました。

その交流を調べると、松平春嶽をはじめとした福井藩主松平家関係の人物や奥女中たち、福井藩士、医師や豪商たち、そのほか福井城下以外に住む人たちなど、多岐にわたります。曙覧はそれらの人物たちとの交流を通して情報を交換し、学問を究め、和歌の世界を深めていきました。そして、そのつながりから知識人たちの「知のネットワーク」ともいうべきものが見えてきます。

本展では、曙覧の幅広い交流と当時の福井を中心とした知識人たちを資料とともに紹介しています。※後期展示の中で 2022 年度新収蔵資料も合わせて紹介しています。

■展示解説：11 月 11 日（土）
14 時から 30 分程度　自由参加　※要観覧券

愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館・グリフィス記念館　３館連携イベント

クイズスタンプラリー「虫をたのしむ」

今年のテーマは「虫」。3 館の展示を観て、クイズにチャレンジしてスタンプをもらうと、リアル？！またはカワイイ虫のお菓子付き抹茶券（先着 100 名）をプレゼント。

作品に登場するいろんな虫を見つけよう！

【スタンプ押印期間】　開催中～10 月 31 日（火）

愛宕坂茶道美術館　企画展「茶道具　虫図鑑」
橘曙覧記念文学館　ミニ展示「曙覧さんの虫ワールド」
グリフィス記念館　「グリフィス館でハロウィンの写真を撮ろう♪」※フォトスポット

※新型コロナウイルス感染症の影響で、展覧会、イベントが中止・変更となる場合があります。最新の情報は HP でお知らせします。

夏休みの出来事　いろいろトピックス

◆美術館　◆文学館

◆親子で作ろう！可愛いウェルカムボード

7 月 26 日（水）、和のスイーツ飾りを使って、可愛いウェルカムボードを作る講座を開催しました。クラフト作家の近藤美佐子先生の指導で、カラフルなボードに可愛らしく飾りつけを行いました。参加した親子は、「思っていたよりとても素敵に仕上がった。家で飾るのが楽しみ」と喜んでいました。

◆読書感想文を書くコツを学ぼう！

7 月 27 日（木）、29 日（土）に小学生を対象とした読書感想文の書き方を教わる講座を開催しました。講師は、元国語教員の黒田不二夫先生と道上賢一先生が担当されました。

子供たちは、家でしっかり本を読んできており、会場では先生方のアドバイスにしたがって、原稿用紙のマス目を埋めていきました。夏休みの大変な宿題に取り組むコツがわかり、笑顔で帰っていく姿が見受けられました。

◆愛宕坂からみんなで花火を見よう

8 月 18 日（金）、フェニックス花火の開催に合わせて、文学館を夜間開放しました。例年は、2 階のテラスから花火を見ていたのですが、今年は蜂の被害防止のため、室内での鑑賞となりました。館内は、ほどよくクーラーが効いて、来館者の皆さんは涼しい場所での花火見物を楽しんでいました。

いろいろトピックス　◆美術館　◆文学館

◆橘曙覧史跡めぐり～福井の老舗を訪ねて

9 月 16 日（土）に福井市中心部の老舗や曙覧ゆかりの史跡を訪ねる史跡めぐりを行いました。各店舗の方に、江戸時代から続くお店の歴史をうかがったあと、順化地区を歩き、福井の歴史を実感していただきました。

大安禅寺では、精進料理をいただき、その後、曙覧のお墓を訪れました。

◆古典を楽しむ美文字レッスン

6 月から毎月 1 回、来年の大河ドラマに関連して、『源氏物語』をペン字で書いて楽しむ講座を開催しています。講師の吉水奈方子氏からポイント解説を聞き、お手本をもとに原文の一部を書いて文字の練習をしています。大変人気のある講座で、追加クラスを設けています。あと 2 回レッスンが続きます。美文字を目指して頑張りましょう！

◆はじめの一歩！短歌 1 day レッスン

10 月 15 日（日）に、短歌の入門講座を開催しました。歌人の紺野万里氏に指導にあたっていただき、短歌の基礎を学んだあと、後半ではミニ歌会をしました。

最初は緊張感がただよっていましたが、次第に笑い声があがり、楽しく充実した講座となりました。

― 休館日のご案内 ―

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
　　年末年始（12 月 28 日（木）～1 月 4 日（木）

※展示替えのため、下記の期間は臨時休館します。
愛宕坂茶道美術館　11 月 28 日(火)
橘曙覧記念文学館　12 月 5 日（火）～6 日(水)

愛宕坂茶道友の会茶会のお知らせ

と　き：11 月 26 日（日）「男たちのお茶会」
　　12 月 10 日（日）「師走の茶会」
ところ：茶道館 26 日 4 階/ 10 日茶室「尚庵」
参加費：一般 700 円　友の会会員 500 円
申込みは一週間前の土曜日、午前 9 時から美術館の窓口、電話にて受付。先着順。
友の会会員の方は先行予約があります。

＜編集後記＞

今年の夏はホントに暑かったですね。雨が何日も降らなくて、庭の植木が枯れてしまうのではと、とても心配しました。文学館の庭には蜂の大群が押し寄せ、連日ぶんぶんと飛び回り、こちらもどうなることかと、おびえながら見ていました。こういった一連の現象が地球温暖化のせいなのか、私には詳しいことはわかりませんが、心配事がなく心穏やかに暮らせることを願うばかりです。短い秋が過ぎると、また冬がやって来ます。この冬は雪が少ないといいな。(T)

愛宕坂だより　秋号　No.74（2023.10.20）

◆福井市愛宕坂茶道美術館
〒918-8007福井市足羽 1-8-5 TEL/0776-33-3933
◆福井市橘曙覧記念文学館
〒918-8007福井市足羽 1-6-34TEL/0776-35-1110